

(2) Today's Goal の設定

📖 こんな実践

各単元では1つの領域、または領域を統合した内容について Lesson Goal を設定しています。その Lesson Goal を達成できるように、生徒の願いや実態、生徒の学びの姿を把握しながら、Today's Goal を生徒と教師が共有して授業を進めることをねらった実践です。

実践学校 中学校（学級数：15 生徒数：497）

実践学年 1 学年

実践時期 1 月

単元 Unit10 あこがれのボストン

学習指導要領との関連 エ 話すこと [やり取り] (ア)

- 「できること・できないこと」を生徒同士で伝え合う言語活動を行えるように単元の構想をしました。4月から新たなクラスで共に生活してきたクラスメイトでも、「できること・できないこと」を伝え合うとことで新たな発見があり、単元を通して生徒が主体的にコミュニケーションを図ってほしいと考えました。

そこで、CAN-DO リスト、話すこと [やり取り] の「初歩的な語彙や表現などを用いて、自分自身のことや体験したことなどについて短い会話をすることができる」から、Q-Aとといったパターンによる対話ではなく、相手の問いかけに適切に応じたり、内容を広げるために関連した質問をしたりするなど、自分の気持ちや考えを即興で伝え合うやり取りを、単元の中で継続的に行おうと考えました。そして Lesson Goal として、「友達との対話を通して、中学校でできるようになったことを伝え合ったり、新たな一面を見つけたりしよう」を設定しました。

**ここがポイント！**

- Today's Goal は、Lesson Goal を達成するために、生徒と教師が目的を共有して、授業をすすめるためのものです。まずは、単元の題材、育成する資質・能力、生徒の実態に応じて、Lesson Goal を設定しましょう。

○ やり取りについては次のことを大切にして指導を行ってきました。

- ・ Do you ~?, Are you ~?, 疑問詞 ~? などを使って、相手の発言に関連する質問やコメントをする。
- ・相手の発言を理解していることを伝えるために、相手の話したことやキーワードを繰り返す。
- ・ How about you? を使って、相手はどうか同じ話題について尋ねる。
- ・聞き取れなければ、Pardon me? を使って聞き返す。
- ・適切な声量や相手に向かう姿勢を意識する。

○ 本単元でもこれらを継続的に指導しながら、Lesson Goal を達成するために、Today's Goal を設定しながら、やり取りについて指導を行いました。

段階	Today's Goal	言語材料, 表現等
	・主な生徒の活動	
1	自分のできること・できないことについて、一言加えて友達に伝えよう	I can ~, but I cannot ~. I like ~. I usually (sometimes) ~. 等
	・教師のことを聞き、Lesson Goal を知る ・自分のことについて、一言付け加えて伝えよう	
2	ボストンについて、自分の知っている情報を伝え合おう	We can skate Boston Common. Can you skate? This is Boston Museum. We can see some pictures of Mt Fuji there. Do you like Mt Fuji?
	・教科書の内容を理解する ・教科書の内容と教師が用意した情報をもとに、ボストンについて伝え合う	
3	自分のできること・できないことを伝え、そのことについて相手に聞いてみよう	I can play soccer well. Can you play soccer? I can't eat onions. I don't like onions. How about you? What ... can you ~?
	・教師のモデルから、自分のことと関連した質問の仕方について理解する ・自分のことを伝え、相手がどうか尋ねる	
4	中学校でできるようになったことや好きになったこと等を伝え合おう	I am in the soccer club. We practice soccer every day. It's hard, but it's fun too. I can play soccer well, Do you like your club?
	・中学生になっての今まで振り返り、自分のことについて伝え合う	
5	新たに知った友達の一面について伝え合おう	A is in the soccer club. He enjoy practicing soccer. It's nice. He can play soccer well.
	・友達について新たに知ったことを伝え合い、お互いの成長を認め合う	

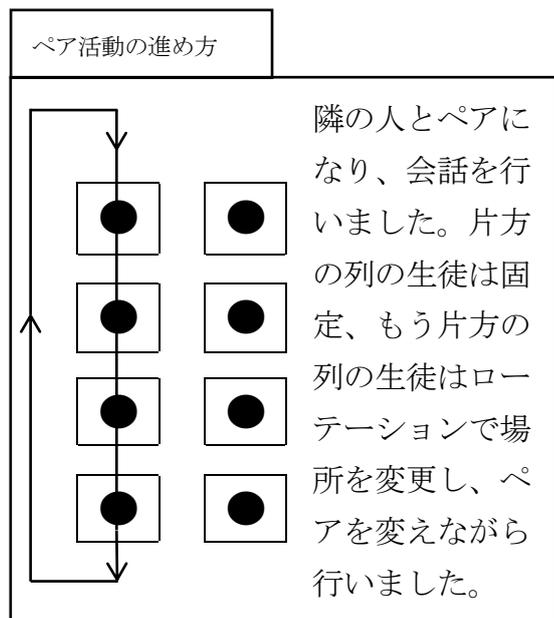
- 単元終末の1時間だけでは、資質・能力は育成することはできません。様々な場面で繰り返し英語に触れ、使用することで少しずつ経験を積み重ねることが必要です。Lesson Goal に向けての1時間ごとのつながりを明確にして単元構想をし、Lesson Goal を達成するための1時間であるという意識を Today's Goal でもてるように心がけました。



ここがポイント!

- Lesson Goal へのつながりを生徒と共有しながら、Today's Goal を設定しましょう。

- 生徒の活動中は机間指導を行い、Lesson Goal や Today's Goal に関わる生徒のよい姿や、つまづきを把握します。活動の合間にそういった姿を取り上げて、全体で紹介することで、Lesson Goal や Today's Goal を常に確認しながら活動に取り組めるようにしています。表現の内容や対話を行うときの態度等、目に見える面だけでなく、生徒たちが目的や場面をどのように捉えてやり取りを行っていたか、思考の過程についても全体で共有をしています。



(評価例)

Today's Goal

中学校でできるようになったことや好きになったこと等を伝え合おう

生徒の会話①

A	I don't like snakes. Do you like snakes?
B	No, I don't.
A	I see. Can you touch?
B	No, No! How about you?
A	No, I can't.

全体で共有したこと①

生徒とのモデル対話で使った“I don't like frogs. Do you like frogs?” “Can you touch?”を使って、自分から話を切り出し、話題に関係のある質問をしている。日常的に使ってきた“How about you?”で聞き返し、会話を継続している。

生徒の会話②

A	Do you like pink?
B	No, I don't.
A	Really? Your pen case is pink!
B	Yes, but I like purple.
A	Really!? No pink? I don't know!

全体で共有したこと②

自分の思っていたことと違う発言や、友達について新しい内容を知ったことで、**Really?**という表現を使ったり、話題について自分のことや自分の気持ちを伝えたりして会話を継続している。

まとめ

Lesson Goal に向かうように各時間で「つける力」を考えていくことで、どんな段階でどんな技能を身につけて行くべきかが明確になりました。また、それをもとに生徒の振り返りの記述や生徒とのやり取りから Today's Goal を設定することで、生徒も Lesson Goal を意識して学習をすることができました。